

SWR計 SW-7R 取扱説明書

この度はミズホ ホーム用 SWR計 SW-7R をお買上げ下さいまして誠に有り難うございます。本機は50Ω系のアンテナ調整に欠かすことのできない高感度の SWR 計でございます。

お買上げいただいた製品は、厳重な品質管理のもとに生産されておりますが、万一運搬中の事故などで破損等のトラブルがございましたらお早めにお買上げいただきました購入店または、ミズホ通信株式会社までお申しつけ下さいますようお願い申し上げます。

◎ 特 長

- (1) トロイダルコイルの採用で1.8MHz帯でもローパワーで SWR 測定が可能です。
- (2) 広角度メーターの採用で正確かつ見やすくなっております。
- (3) SWR 計の他に通過型電力計として、キャリブレーション無しで出力が直読可能です。

◎ 定 格

| | |
|------------|-----------------|
| 周波数範囲 | 1.8~150MHz |
| 入出力インピーダンス | 50Ω |
| 入力定格電力 | 150W (CW) |
| SWR 測定範囲 | 1:1~1:∞ |
| SWR 測定感度 | 1W以上 |
| 電力レンジ切り換え | 5, 25, 150W |
| 電力指示精度 | ±10% (フルスケール) |
| 挿入損失 | 0.3 dB 以下 |
| 入出力接栓 | M形 |
| 機 能 | SWR・進行波電力・CAL |
| 寸 法 | W220×H66×D154mm |

1. 使用上の注意

- (1) 本機はインピーダンス50Ωに設計されておりますので、50Ω以外のアンテナ等の調整は出来ません。したがって結線用ケーブルも必ず50Ω系を御使用下さい。
- (2) 通過型電力計として使う場合、負荷となるアンテナ側のインピーダンス等が50Ω以外ですと正確なパワー測定ができません。アンテナの代わりに50Ωの高周波抵抗を負荷とすれば正確なパワー測定が可能です。
- (3) 湿度の高い所や直射日光の当る所、また強い衝撃等をあたえないで下さい。

2. 操作方法

(1) SWRの測定

- ①後面パネルに50Ω系のアンテナとトランシーバーへ行くケーブルを接続します。(図-2, 3, 4参照)
- ②FUNCTIONツマミをCALに合わせ、送信機から連続波(A₁やF₃等)を出しCALツマミを廻してメーター指示を右端のCAL目盛に合わせます。(図-1参照)
- ③その状態のままFUNCTIONツマミをSWRの位置にするとメーターが左に振れますから、目盛の一番上を読み取りますと、それがSWR値となります。
※一般的にSWRが1.5以下であればアンテナとのマッチングは良好と考えられます。
この値は小さい方が良いわけですから、さらにアンテナ調整をしたり、カップラーを使ってSWR値を下げれば理想的です。

(2) 通過電力の測定

- ①接続はSWR測定と同じです。FUNCTIONツマミをPOWERに切り換え、POWERレンジツマミを必要なレンジにします。(図-1参照)
- ②送信機を動作させると針が振れ電力が測定出来ます。レンジによって3つの目盛がありますので、各々のレンジに合った目盛からパワーを読み取ります。

図-1 正面の操作

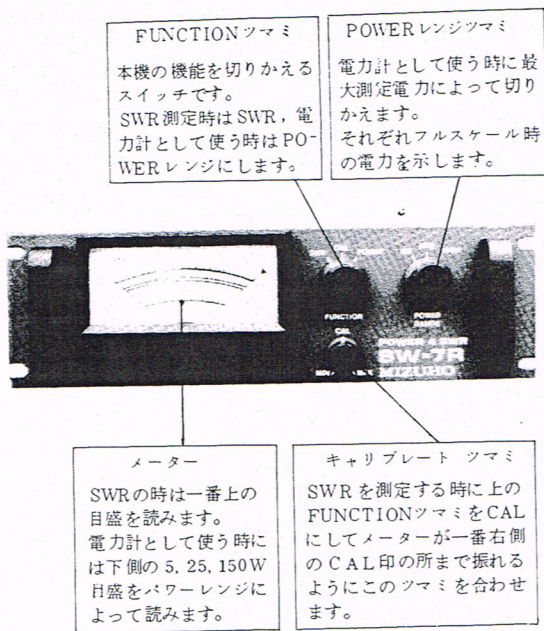


図-2 後面の接続

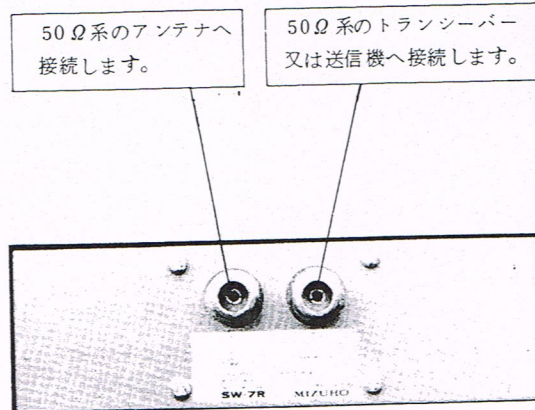


図-3

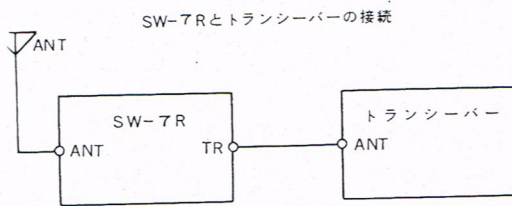


図-5

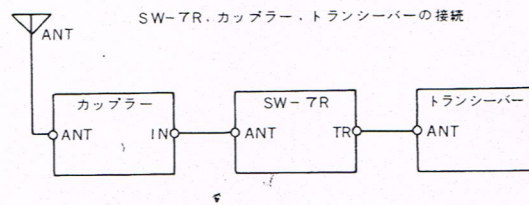


図-4

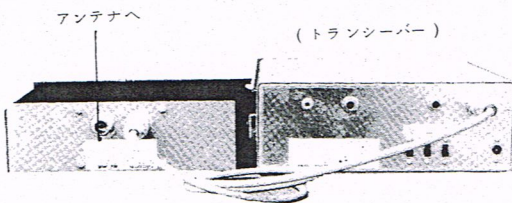
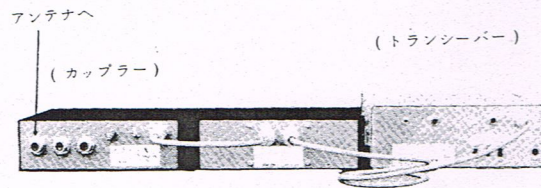


図-6



三友市通信株式会社

東京都町田市森野2-8-6
〒194 TEL 0427(23)1049